

vol.

90

<Airheads通信> Aruba Centralの新境地。 3つの「Insight」に迫る！

クラウド管理プラットフォーム「Aruba Central」がいよいよ大きくアップデートされ、これまで個別に利用してきた機能がクラウド上からでも簡単に利用できるように。今回は、そんな3つの「Insight」を使うと何がうれしいのか、わかりやすくご紹介する。

<今回のポイント>

- クラウドWi-Fi「Aruba Central」に3つの機能が追加
- アセスメント結果から最適な設定をレコメンドする「Aruba NetInsight」
- ユーザーの立場でネットワークの状況把握が可能になる
「Aruba User eXperience Insight」
- OT系のデバイス識別が可能になる「Aruba ClearPass Device Insight」



この記事のPDFをダウンロード

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。
パートナー営業本部の山守です。

少し前の話になりますが、夏休みに弾丸でポルトガル・スペイン・
ドバイに旅をしました。

その弾丸中に訪れたポルトガル・アゲタにて遭遇した「傘祭り」。
間違いなくインスタ映えする風景に、思わずシャッターを押しまくりました。



お店が提供しているフリーWi-Fi（もちろんArubaでしたよ）を使って友達に興奮気味で写真を送ったのですが

「大量の傘は、神宮外苑のヤクルト戦にしか見えない」

とのこと…。残念過ぎます。



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



前はクラウドWi-FiとしてのAruba Centralの特徴について振り返りながら、新しいアップデート情報を紹介しましたね。



そうだった。Aruba自体がシングルアーキテクチャで、オンプレも継続的に支援するといったことを教えてもらったな。あとは新しい3つの機能がAruba Centralに追加される話も。ちなみにディーンから教えてもらったね、この情報。



…きちんと覚えていますね。



もう少し新しい機能の話を聞きたいな。



新しい機能でいえば、「Aruba NetInsight」「Aruba User eXperience Insight」「Aruba ClearPass Device Insight」の3つの「Insight」が少しずつ Aruba Centralと統合されていくんですよ。



そうです。ではどの辺から行きますか？
便利な「Aruba NetInsight」から行きましょうか。



お、じゃあ教えてよ。何が便利なの？



一番大きいのは、無線ならではの環境変化にしっかり対応してくれる機能であること。具体的には、AIを使って24時間365日無線環境のアセスメントを実施し、パラメータの変更をレコメンドしてくれるんです。



無線ならではのというのは？



有線では外的な環境変化が影響することは少ないですが、無線は隣にビルが新設されて新たなAPが設置されて干渉源が増えたり、人事異動によるオフィスのレイアウト変更で環境が変わったりして、設定した当初は最適なもので、外的な変化によって最適ではなくなる可能性があります。



当初は十分使えていたのに、環境の変化によって設定を変えた方がいい場合があるよね。



そんなときに、現状の環境を調べたうえでおすすめ設定を教えてくれるってわけ？



電波強度はもちろん、ネットワーク全体のスループットも考慮して、最適な環境をお勧めしてくれます。
下の資料を見てください。NetInsightが検出した問題や課題などが提示され、それに対する対策案をピックアップしてくれるんです！



それは便利だね！現場からのクレームで初めて環境の変化に気づくことが多いもんね。だって、定期的にサイトサーベイなんてしないもんね。



従来のようなトラブルがあって初めて動くリアクティブな対応から、未然に対処するプロアクティブな形に対応できるようになるわけです。



そんな機能が手に入るのは、我々管理する側としてありがたいですね。



設定変更の前後を比べることもできるため、どう改善するのが事前に分かるようになります。例えば、こんな感じデス！ね。わかりやすいでしょ。





そんな便利な機能がAruba Centralに実装されるんだ。
ちょっと試してみたいなあ。



次に「Aruba User eXperience Insight」ですけど。



以前はCape Networksのソリューションだったものですよ。



そうです。無線を利用する環境に設置して、ユーザー視点で状態が把握できるものです。正確に現場の状況が把握できるようになります。



確かに現場でトラブルがあっても、「つながらないから何とかして！」といわれても、具体的にどんな状況なのか教えてもらわないとね。詳しい人ならいざ知らず、詳しくない現場の人から状況をヒアリングしても、原因特定につながる情報って得にくいからね。

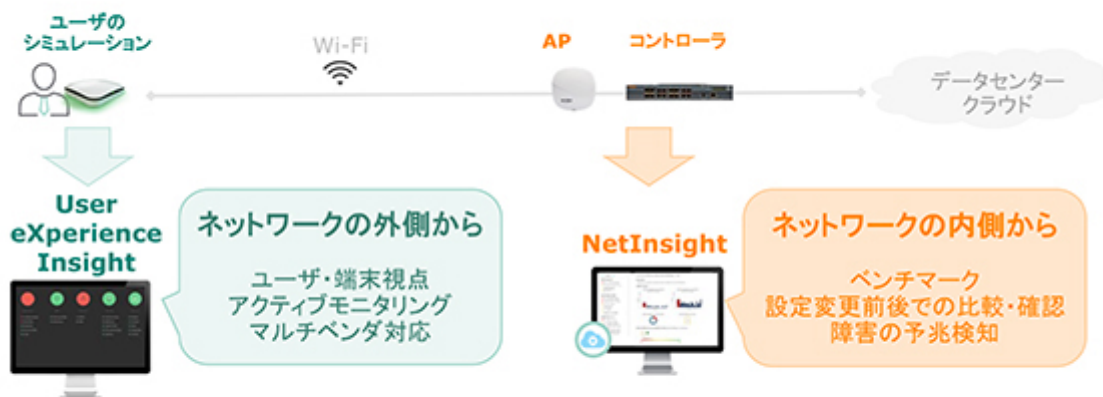


Aruba User eXperience Insightがあれば、現場の状況が詳しくわかるわけね。これも便利だわ。



つまり、NetInsightはネットワークの内側から、Aruba User eXperience Insightは、ネットワークの外側からモニタリングをする機能ですが、これらがCentralで一元的に管理できるというのは、便利だと思いませんか？

ネットワークの外からと内からのモニタリング



SaaS、エンタープライズアプリケーション、ネットワークサービスの品質を監視
運用コストを削減、最良のエンドユーザーエクスペリエンスを実現



うーん。確かに。



3つめの「Aruba ClearPass Device Insight」は、工場やオフィスなどに導入するセンサーなどを識別し、どんなデバイスが使われているのかを可視化してくれるものです。



IT機器のデバイスは資産管理ツールなどでもわかるけど、工場設備や各種センサー、ウェアラブルデバイスなどを識別するのは難しいでしょうからね。



Clearpassと連携することで、例えばWindowsXP搭載のデバイスはネットワークにつなげない、といった制御も可能になります。



可視化した後のアクションも欲しいところだもんね。



以前は個別の仕組みとして利用することができましたけど、いよいよクラウドWi-Fiに統合した形で利用できるんですね。統合された管理基盤の中で利用できるのはうれしいはずですよ。



ますますクラウドWi-FiとしてのAruba Centralが便利になるね。うちも全ての管理をクラウドに任せてしまってもいいような気がするなあ。



でもこれだけわかりやすいと、我々はもっと戦略的な時間にリソースを使うことができそうです。



お、業務効率化で働き方改革、なんか上司にもすぐに稟議が通りそうなフレーズが使えそう。早速、話してみようかな。



でも、大輔さんは普段から残業しているわけでもないのに、働き方改革には縁遠い存在ですよ。そんな大輔さんが言っても説得力が。



えー、なんか僕が全然仕事してないみたいじゃない。



…あれ、違ったんではたっけ？



……

誰でもネットワーク管理ができる時代へ、 「はじめてみようAruba Central」 ～90日間トライアルライセンス配布中～

802.11ax対応の最新アクセスポイントから従来モデルまで、
対象ネットワーク製品をお持ちであればどなたでも！

http://bit.ly/ArubaCentral_Trial_SIGNUPNOW

ネットワークエンジニアの方集まれ！ Aruba Airheadsアカデミー Season 4

2020年1月より4都市で開催します。

【東京】1月17日（金）14:00- 17:15

@ 日本ヒューレット・パッカー株式会社 本社

https://connect.arubanetworks.com/ja_academy_Tokyo0117

※名古屋、大阪、福岡開催も決定！お申込みサイトは近日公開します。

バックナンバー

▼ vol.1 - vol.49

▼ vol.50 - vol.89

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。